

# 函館 ハリストス正教会

2020年9月 第79号



発行者：函館ハリストス正教会 長司祭列ノト児玉慎一  
〒040-0054 函館市元町3-13

TEL(0138)23-7387/FAX (0138)23-7939

URL <http://orthodox-hakodate.jp>

Email [frclement205@gmail.com](mailto:frclement205@gmail.com)

編集者：会報編集委員会 郵便振替 02660-5-1721

## 良心 ～信仰によって研がれるもの～

「我等の生命は路なり」と聖大ワシリイは言いました。この路は私のものではなく、今日私が歩み、明日は他者が、その後歩むのはまた他の者である。誰かのものと名付けられたけれどもまた新たな持ち主へと移り行くものであると。この連綿と続く生命は本当に神秘に満ちています。この生命の受け渡しは木の葉が生え変わるようなものであるとも言われます。春風にそよぐ青葉は秋には紅葉して落ち、朽ち果てます。そして春にはまた新しい葉が枝を飾ります。一人一人の生命は木の葉ほどはかないものと言えるでしょう。

しかしながら創造者はその一人一人に霊を与えられました。霊に智慧と肉体とを密接に結びつけられてこの世に生まれ出だされ、地上にあるものを司る使命を与えられたのです。そして私たちは力の及ぶ限り創造者にのっとり天上の善き秩序の影を地に描くことが求められていると先の聖人は言います。

私たちには皆良心があります。善悪を



見極めて善きものを選択しようとする心の働きです。この良心を以て、与えられた人生を歩みながら神の旨を行うのがハリストティアニンの務めです。聖イグナティは「ハリストスによって良心を研げ」と言いました。いかなる罪も取るに足らない罪と思ってはならない。どんな罪も神に反して良心を踏みにじることだから。良心が蹂躪されるとその刃先はにぶり、無関心無感覚の闇が霊を覆う。様々な罪が自由に霊に入り込み、ついに習慣化し癖となるというのです。

誘惑に負けて良心に背いたときは痛悔の涙を流して過ちを洗えと言われます。何より、私たちがこの世に在る摂理を思って、神の戒めを守り、隣人への振舞いを正し、物に対しては神の賜物と感謝し、自分に与えられた神の像と肖を清く聖にする義務を負うことを忘れないことで良心を研ぐことは大事です。こうして研がれた良心は常に私たちの中で働き、危うき時に警鐘を鳴らすのです。(K)

## 上磯ハリストス正教会 総パニヒダと墓地祈禱



8月13日(木)10時から、上磯正教会聖堂において総パニヒダが行われました。毎年、聖堂でパニヒダを行い、それから野崎教会墓地へ向かいます。墓地にはお盆で帰省した子供たちや孫たちも沢山集まり、盛大に墓地祈禱が行われます。

今年はコロナ禍でどのようになるか、一時は中止も検討されましたが、多少社会情勢も落ち着き、屋外でもあることで実施しました。墓地に来てみるとほぼ例年並みに墓参りの人々も集まり、それぞれの先祖の墓はきれいに掃除され沢山の花が手向けられました。今年も大変暑い中での祈りになりましたが、皆で永遠の記憶を献じられて良かったです。



## 主の変容祭・果実の成聖

8月23日(日)の主日聖体礼儀では主の変容祭も併せてお祈りしました。それぞれの家庭から持ち寄ったブドウや果物は聖堂の祭台に並べられ、神父によって成聖されました。

「おだやかな気候によってブドウや果物が成熟したことを喜ぶ者に祝福し、またこれを主に奉ることで諸罪の潔めを得るように」と祈願しました。





## 宗務局会議の開催

8月18日(火)、神父は仙台正教会で開催された東日本主教々区宗務局会議に参加するため仙台へ出張しました。

今回の会議のテーマは教団からのコロナ禍による献金収入減に対する特別交付金の分配案についてでした。教区会議で宗務局に一任されたこの案件を、諸状況を鑑みながら十分に検討し、分配額を決めました。



## 西高放送部の訪問と取材

8月に複数回にわたって教会の隣にある函館西高校放送部の生徒が教会を訪れました。地元の西部地区を紹介する番組作成で、当教会の聖堂の歴史や鐘の音、教会の地域との関わりなどを詳しく取材するためでした。

鐘の取材では鐘楼に登り、間近に聞く鐘の大音量に驚き、一望できる地元の美しい風景に感動していました。

## 聖堂公開の近況

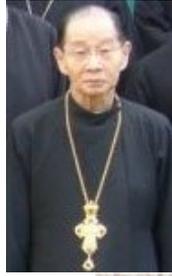
聖堂を訪れる一般拝観者は例年に比べるとずいぶん少ない状況が続いていますが、Go Toキャンペーンで函館を訪れる観光客は少しずつ増えているようです。

お盆を過ぎて学校が始まると、市内の小中学校を中心に研修で訪れる子供たちも増えました。彼らの歓声や元気な様子に触れてホッと一安心です。



## 訃 報

8月17日(月)、かねて休職されておりました徳島正教会の長司祭グリゴイ小川公氏(84歳)が癌性胸膜炎によりご永眠されました。埋葬式はご子息の司祭ナファイル小川卓氏を喪主として、セラフィム大主教座下のご司祷で21日に徳島正教会で執り行われました。



8月14日(金)、函館ご出身で元札幌正教会執事長のイアコフ星見定義誦経者が急性肺炎のためご永眠されました。17日に札幌正教会で埋葬式が行われ、函館正教会からは信徒一同としてお花を献じました。



お二人に永遠の記憶



## 聖堂保存修理工事前写真の撮影

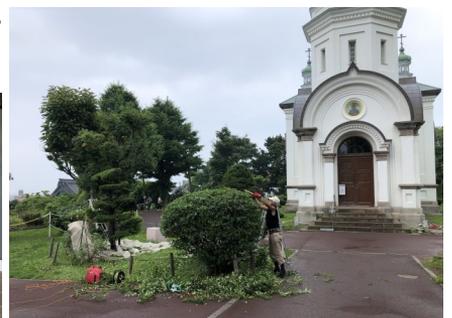
8月25日(火)、今年度から始まる聖堂保存修理工事を前にして聖堂外観の写真撮影が行われました。工事の記録として着手前、工事中、竣工後の様子を残す目的です。

また近日中にこれとは別に工事の記録映像も撮影されます。ドローンを使った空中撮影も取り入れられDVD化されるもので、工事前の状況、工事中の工程や建築技術を記録し保存する目的で行われます。

## 境内の樹木剪定と会館玄関壁の修理

8月第一週に境内の樹木剪定を坂造園に依頼して実施しました。広い境内での作業は数日かかりますが、今年は加えて工事前撮影のために特別に枝払いする必要もあって5日間ほどの作業となりました。境内の樹木は30年前の前回修復時には幼木だったものがぐんぐん生い茂り、その後に植樹された木々と共に鬱蒼としてきています。移植や間引きも検討しなければならないでしょう。工事後の大きな課題です。

また信徒会館玄関の壁が雨が入り込み痛んだので修理をしました。小さな修復はこれからも出てくると思います。その都度対応していきます。



## 執事会報告

日時 令和2年8月16日(日) 午後12時半～3時半

場所 信徒会館執事会室

項目	内容
報告事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7/28(日) 函館正教会定例信徒総会</li> <li>・ 8/3(月)～ 境内地剪定作業 (坂造園 約19万)</li> </ul> <p>※例年の部分に加え、工事前写真の為に特別に枝払い等を行った。数十年で生い茂った樹木を伸ばし放題ではなく、今後間引きや枝透かしをし、工事後の全体像を見据えて手をかけて行く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 聖堂公開について ※当面奉仕者一人体制で臨む。</li> <li>・ 聖堂保存修理事業について</li> </ul> <p>※コロナ禍の支援策として国庫補助率が85%にアップした結果、北海道の補助を得られなくなる(補助の下限を下回るため)ので以前の80%補助のまままで申請する。(当初予算通り)</p> <p>※工事の記録撮影が行われる。ドローンも使用しDVDが作成される。</p> <p>※防災・電気関係の設備については新しいものに替えられる。床下コンセント、スイッチボックス、LED照明、炎感知器、避雷針等。</p>
予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8/17(月) 矢木兄一年祭パニヒダ</li> <li>・ 8/25(火) 工事前写真撮影</li> <li>・ 9/13(日) 聖自治50周年記念行事 (東京)</li> </ul> <p>※総主教聖下来日は中止。東京を主体に規模を縮小して実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9/26-27 北海道ブロック宣教会議 (小樽)</li> <li>・ 11/28-29 北海道ブロック聖歌リーダー研修会 (函館)</li> </ul>
協議事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 敬老会贈り物について</li> </ul> <p>※例年の菓子等を70歳以上に贈呈。聖堂での感謝祈祷のみ。葉書案内をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 墓地規定について (登録、使用料、管理料等)</li> </ul> <p>※墓地管理規定を討議した。若干の文言修正を加え確定する。使用料について基準となる面積の規定を加えた。管理料についての基準も明確にした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 執事執務細則について</li> </ul> <p>※当教会の法人規則書に執事は明示されていないが、「執事規則」として総会時に示したものにその構成、執事会規定を加え、当面内規として運用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 聖堂保存修理工事関連 (引越し、仮聖堂)</li> </ul> <p>※引越しについては信徒での移動が大変なものは業者に委託し、仮聖堂となる信徒会館に運ぶものと、プレハブに保管するものとを分ける。仮聖堂は東半分は仮宝座、最低限のアナロイ、ランパード、祭台を設置し、集会時はパーテーションで区切って使用する方向で会館内の配置を決める。</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 来月の日程 9/6 聖名日モレーベン 9/13 上磯巡回</li> <li>9/20 生神女誕生祭、敬老会モレーベン、秋のパニヒダ、執事会</li> <li>9/27 十字架挙栄祭 代式祈祷、道ブロック宣教会議出張</li> </ul>

## 函館正教会献金報告

2020/7/30~2020/8/23分

※敬称略

日付	種類	氏名	金額	日付	種類	氏名	金額	日付	種類	氏名	金額
7/31	感謝			7/31	感謝			8/23	感謝		
7/31	感謝			8/7	会報			8/23	感謝		
7/31	感謝			8/23	会報			8/23	感謝		
7/31	会報			8/23	会報			8/23	パニヒダ		

### 【墓地献金】

--

### 【聖名祭献金】

7月	
----	--

## 9月の聖名祭

聖名日が9月の方々の聖名祭モレーベンを9月6日(日)に聖体礼儀に続けて行います。

是非ご参拝下さい。



聖名日	聖名	氏名
9/5	ルップ	大谷和博
9/8	ナタリヤ	薄井留美子、加藤ちひろ、西村栄子
9/14	ヨシュア	大村康司
	マルファ	大谷菜結
	カルリスタ	高井和枝
9/15	ルフィナ	鈴木朋子
9/16	フィワ	立花かがり
9/17	モイセイ	加藤 節、齋藤貞夫
9/18	エリザベタ	加藤さくえ
9/22	アンナ	太田めぐみ、齋藤則子
9/28	ニキタ	西村洋一
9/30	ソフィヤ	薄井祐子、村井幸枝、村岸貞子、山田ミドリ、若松篤子、佐藤宏恵、落合京子、勝田智子、高島楨子、花野淑江
	ウェラ	若松朋代、今野英子
	ナデジダ	岡田みどり、高島昭子
	リュボフ	清宮志帆、村井紗瑛佳、佐藤美子

## 8月の教会日誌

今年は8月に入って暑い日もありましたが、朝晩は少し秋の気配を感じるようになりました。

- 8/3-7 境内の剪定作業が行われました。
- 8/13(木) 上磯の野崎墓地でパニヒダ。今年も暑い中沢山集まりました。
- 8/17(月) 矢木和孝兄の一年祭パニヒダが聖堂で行われました。
- 8/18(火) 仙台で宗務局会議がありました。
- 8/19(水) 函館西高校放送部が聖堂見学と取材打ち合わせで来訪しました。
- 8/25(火) 聖堂保存修理工事前の聖堂写真撮影が行われました。

## 9月の奉事・行事予定

5日(土)	函館	17:00	主日徹夜祷 第4調 福音経：マルコ70端 16:1-8
6日(日)	函館	10:00	五旬祭後第13主日聖体礼儀 使徒経：コリンフ前 166端 16:13-24 福音経：マトフェイ 87端 21:33-42 ●聖名日モレーベン
12日(土)	上磯	19:00	主日晚課 第5調
13日(日)	上磯	10:00	五旬祭後第14主日聖体礼儀 使徒経：コリンフ後 170端 1:21-2:4 福音経：マトフェイ 89端 22:1-14
	函館	10:00	主日代式祈祷 誦経：下田兄
19日(土)	函館	17:00	主日徹夜祷 第6調 福音経：ルカ112端 24:1-12
20日(日)	函館	10:00	五旬祭後第15主日聖体礼儀 <b>生神女誕生祭</b> 使徒経：コリンフ後 176端 4:6-15 福音経：マトフェイ 92端 22:35-46 ◎敬老モレーベン ★秋季総パニヒダ ■定例執事会
26-27日	小樽	北海道ブロック第1回宣教委員会	
27日(日)	函館	10:00	五旬祭後第16主日代式祈祷 第7調 <b>十字架挙栄祭</b> 使徒経：コリンフ前 125端 1:18-24 福音経：イオアン 60端 19:6-11,13-20,25-28,30-35

## 婦人会より

お当番さん、宜しくお願ひ致します！

◎9月のお当番 … リュボフ下田節子姉、スヴェトラナ山崎ひとみ姉  
(食事当番はありません。お掃除などをお願いします。)



## 編集後記



お盆が過ぎれば一気に涼しくなるというのはもう一昔前のことでしょうか。今年は残暑厳しく8月末というのに日中は連日30度前後の気温です。マスクをしながらのお祈りもエアコンのない聖堂では皆さん大変ですね。もう少しの辛抱となれば良いのですが。

大沼湖畔で立派なカブト虫と遭遇。映える虫です。(K)

